

### 取り付けましたか？住宅用火災警報器

住宅用火災警報器とは、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。  
富良野広域連合火災予防条例において、寝室と階段（2階に寝室がある場合）に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。まだ設置されていない家庭がありましたら設置するようお願いいたします。  
火災は決して他人事ではなく、どこの家庭にでも起こり得ることであります。万が一のときでも、火災警報器があればいち早く火災を知らせてくれます。

#### <警報機が鳴ったときの正しい対処法>

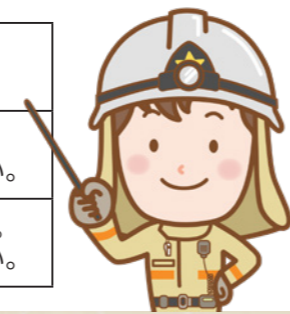
火災のとき	大きな声で知らせましょう。避難しましょう。119番通報しましょう。可能なら初期消火を行いましょう。
火災ではないとき	火災ではないのに住宅用火災警報器が鳴る場合があります。警報停止ボタンを押すか、ひき紐を引いて警報を止めてください。
電池切れのとき	電池切れ警報が鳴ったら電池を新しいものに交換してください。機器ごと交換する機種は、新しい火災警報器に交換してください。

#### 救急出場状況

(11月分)

労働災害	1件(1人)
運動競技	1件(0人)
自損行為	1件(1人)
急病	4件(4人)
11月計	7件(6人)
累計	180件(159人)

※( )内は搬送人員



## 野生動物対策の状況

農林課林業振興室  
野生鳥獣専門員  
56-2174

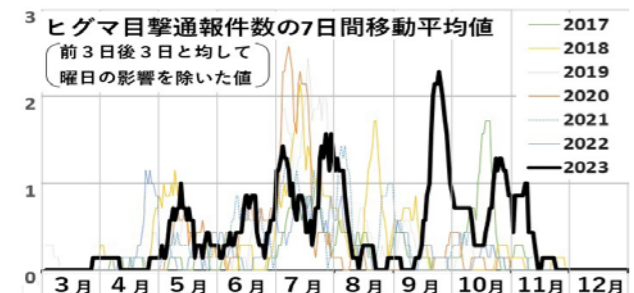
### エゾシカ

11月の捕獲は駆除39、狩猟8（猟区内）の計47頭でした。性比は依然オスが多く、7割以上です。12月以降は次第に捕獲しづらくなってきました。

### ヒグマ

要対応案件の多い秋でしたが、12月に入ると静かになりました（下図）。食べる物が乏しく、早めに冬眠する個体が多かったのかもしれませんが。

酪農学園大学の電波追跡個体は11月中にGPS通信が途絶しましたが、うち1頭の最終確認地点でその地上波の探知に成功し、当個体が11月5日ごろにそこで冬眠入りしていたことが確認できました。12月半ばまでの活動が普通であることは知られていま



すが、冬眠開始の確認は難しく、今回のように比較的早い時期の事例把握は大きな成果でした。

令和5年のヒグマ対応は人身無事故で終了できそうです。皆さまのご尽力に感謝いたします。来期に向けてさまざまな懸案もあり、冬の間に検討を重ねて備えてまいりましょう。恒例のヒグマミーティングは1月27日開催予定です。ぜひご参加ください。詳細は広報紙の折り込み資料をご覧ください。

#### ◆ そのほか

12月21日、住民の方から、弱ったオジロワシが中トマムの道道にいるとの通報があり、振興局と調整の上で村の専門員が保護



保護したオジロワシ

しました。希少猛禽の保護を環境省から受託している猛禽類医学研究所（釧路市）に移すことになり、猟友会のボランティアの下で一晩を過ごした後引き取られていきました。足に骨折があり、鳥インフルは陰性でした。元気になって空に戻れたらよいですね。

傷病鳥獣は必ずしも保護・加療できるわけではありませんが、伝染病など人への危害を防ぐためにも、見つけたら手を触れず、村へお知らせください。



## 地域とともに

コミュニティ・スクール情報  
～占冠中央小学校～

教育委員会学校教育担当 56-2182

### 楽しかったアスペンとの交流会

10月24日、アスペンとの交流会がありました。中央小は半日だけの交流でしたが、積極的に言葉を掛けながら楽しいひとときを過ごすことができました。事前に「どんなことをしたら喜んでもらえるのか」一所懸命に考えてゲームや会場の準備をしました。そのおかげで、互いに楽しめるとても温かい会になり、国際交流学習としても大成功でした。



### 文化芸術による子ども育成推進事業



10月27日、村教育委員会主催の文化芸術鑑賞教室「サロンオーケストラ・エイト」に招待され、全校児童で鑑賞させていただきました。昨年度は、大人数でのコンサートで、音の大きさに圧倒された子どもたち。今年度は、8人の演奏者によるコンサートでしたが、とても少人数とは思えない迫力と、それでいて聞き心地の良い音のハーモニーを聴かせていただきました。後半には数名の児童による指揮者体験もさせていただき、指揮者による音の速さを体感したり、指揮者と演奏者の気持ちを合わせることの大切さを学びました。何よりも、子どもたち自身が音楽の楽しさや素晴らしさを肌で感じられたことが良い学習となりました。この演奏会に際して、ご支援、ご協力をいただきました地域や保護者の皆さま、そして「サロンオーケストラ・エイト」の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

### 長生会との交流

11月16日、社会福祉協議会の皆さまの企画運営によって、長生会との交流会が実施されました。新型コロナウイルス感染症予防のためしばらくできなかったこの企画でしたが、今年度ようやく一堂に会して実施することができました。社会福祉協議会の方が考えたゲームをしたりお年寄りの方と楽しく会話したりしながら楽しいひとときを過ごしました。村の方との触れ合う活動を通して、ふるさとの人々の良さや自分たちが温かく見守られながら過ごしていることを学びました。今度は自分たちが村のためにできることを考えていければと思います。



## こちら駐在所です

占冠駐在所  
56-2110

### 雪による事故の防止 ～ 慣れた雪かき 危険がいっぱい～

#### 早めの氷雪下ろしを！

例年、屋根からの氷雪の落下により、下敷きになるなどの事故が発生しています。氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。また、氷雪は早めに下ろして、落氷雪による事故を防止しましょう。

#### 雪下ろし作業は複数で行い安全確保！

例年、屋根の雪下ろし中に、はしごや屋根から転落する事故も発生しています。作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万一に備え、万全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。



#### 除雪機に注意！

例年、除雪機による除雪作業中に衣類を巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故も発生しています。作業時は、作業に適した服装を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くなどの作業は絶対にやめましょう。